

アシストスーツによる軽労働化実証調査

農業資材や選果・出荷時の荷物の運搬における作業の疲労軽減を図るために、アシストスーツの利用が期待されている。そこで、コンテナ等運搬作業の着用時の疲労度等に関する軽労働化実証調査を行った。

調査内容

- 使用機器：マッスルスーツEdge（（株）イノフィス社）
- 使用期間：令和元年9月20日～12月19日
- 調査：着用時の疲労度等に関する聞き取り調査

調査結果の概要

- 農業資材運搬時の疲労度軽減
→ 動きやすさ、歩きやすさは逆効果
- 選果・出荷時における疲労度軽減
→ 荷物の持ち上げやすさは、軽労働化効果高い

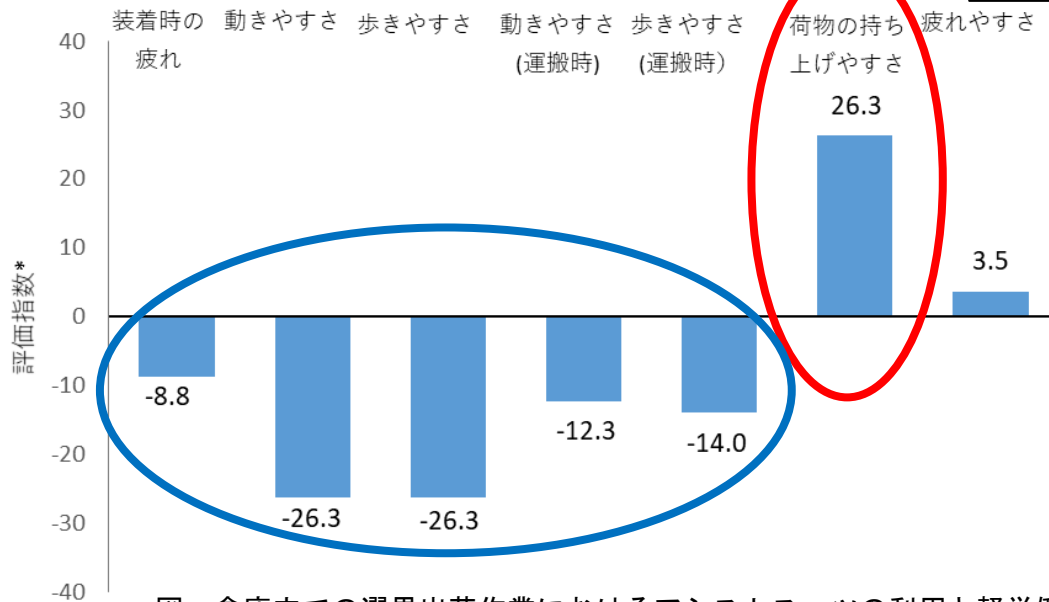


図 倉庫内での選果出荷作業におけるアシストスーツの利用と軽労働化評価
※評価指数 = $\sum(\text{評価値}) / (3 \times \text{評価人数}) \times 100$ 、数値が高いほど軽労働化評価が高い
(評価値 -3: -30%以上、-2: -30~-20%、-1: -20~-10%、0: -10~0~10%、1: 10~20%、2: 20~30、3: 30%以上)



アシストスーツ着用



倉庫内で軽労働化調査

【今後の目標】アシストスーツ着用の優位性を高める使用方法を検討